

第 34 期（2023 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成
国内活動助成申請書

○新規申請・継続申請 ←いずれかに○

1. タイトル

絶滅危惧種●●の違法取引を防ぐための普及啓発イベントの開催

日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。

2. 申請団体

団体名	●●プロジェクトチーム		
申請代表者 氏名	(フリガナ)シゼン タロウ 自然 太郎	生年 月日	
所属機関 ・役職	●●保護財団 研究員		
住所	〒自宅か職場の住所をお書きください。書類を受け取るのに都合の良い住所をお書きください。 いずれかに○→（自宅・職場）		
電話	自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください。	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせください。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書きください。

プロジェクトを行うグループの名前をお書きください。法人名である必要はありません。

3. 活動の種類（複数選択可）

- 野生動植物種や植生、動物分布、生態系、地形や水文環境などの保護活動
- 自然保護教育や環境教育の推進、自然保護思想の啓発のための活動
- 自然保護を訴えるパンフレット、書籍、映像コンテンツなどの製作
- 自然保護を訴えるシンポジウム、セミナー、イベントなどの開催
- その他

4. プロジェクトの目的（200 字程度）

本申請プロジェクトにおける、最終的なゴールを明確にお書きください。

絶滅危惧種●●の違法取引を防ぐため、国内の動物園数ヶ所でイベントを開催し、一般市民の野生生物保全に対する意識の向上に努める・・・

5. 助成申請額（支出計画書の金額から千円の位を四捨五入した金額）

100 万円

6. 助成期間

1 年間

支出計画書の金額から千円の位を四捨五入した金額をお書きください。千円・百円単位まで書かないでください。

プロジェクト計画書（1）

1. 活動の意義

(1) 本活動の自然保護上の意義について、要点を100字程度で簡潔に枠内にお書きください。

日本国内の動物園で絶滅危惧種●●の違法取引の現状を伝えるイベントを開催することで、幅広い年代の人々に注意喚起を行い保全の意識を高めることが出来る

文字のフォントを大きくしたり、太字にしたりして、内容が一目で明確にわかるように、適宜工夫してください。

(2) 本プロジェクトを申請するのに至った背景について詳しくお書きください。

●●は、近年、一部の動物愛好家に人気のペットとして注目されており、乱獲やインターネットでの違法売買が後を絶たない。また、・・・

(3) どこで、どのような活動を行うのか、地域性や独自性、特徴などについて具体的にお書きください。可能であれば、活動対象地域の地図を添付してください。

本プロジェクトでは、●●の保全のため、日本国内の動物園数ヶ所で普及啓発イベントを行う(下記地図参照)。

具体的には、講師として野生動物取引に詳しい専門家□□氏を招き、子供も大人も参加できるようなワークショップを開催する。これにより、老若男女問わず多くの参加者が正しい知識を身に付けることができる。さらにイベントを行うだけでなく・・・

地図

(4) 昨年度からの継続申請の場合は、継続理由もお書きください。

【継続理由】

※注意※

【前回から

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置やサイズの変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。
- 字数制限はありませんので、ページ内であれば設問ごとに回答スペースを調整しても構いません。

各ページ毎に、設問に対する回答が収まるようにしてください。(この文庫は別紙の上、縦向き)

プロジェクト計画書（2）

2. プロジェクトの計画

(1) 本活動における具体的な到達目標をお書きください。

この助成期間に何を達成するのか、具体的にお書きください。

目標①日本国内の●●の違法取引の現状について5つの動物園（○○動物園、△△動物園、□□動物園、◇◇動物園、☆☆動物園）で全5回イベントを開催し、合計500人の参加を目指す。

目標②・・・

イベントを開催する場合は、開催場所の主体に了承を得ているなど、ある程度開催の目途が立っていることが重要です。

(2) どのように上記の目標をクリアしていくのか、具体的な活動内容とスケジュールなどをご説明ください。

目標①・・・手法①各動物園の普及啓発担当者と連携し、イベントのプログラム内容を調整する・・・

・・・手法②●●の飼育の現状について○○にアンケートをとり・・・

目標②・・・

・・・

どのような方法で目標の到達を図るか、お書きください。

(3) 予算計画について、「c. 委託費」、「d. 賃金・謝金」等の一つの費目への比重が大きい場合などは、その理由を説明してください。

全国各地の動物園でイベントを開催するため、旅費の支出が多い・・・

- 字数制限はありませんので、ページ内であれば設問ごとに回答スペースを調整しても構いません。
- (3)の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。そのぶん(1)と(2)の回答スペースを広げてお書きいただいても構いません。
- ただし、ページ数は増やさないでください。

各ページ毎に、設問に対する回答が収まるようにしてください。(この文章は削除の上、提出可)

プロジェクト計画書（3）

3. 申請グループの活動戦略と、今後の活動展開

- (1) 本申請グループは、自然保護のためにどのような目標や戦略をもって活動しているのか、100字程度で簡潔にお書きください。

本プロジェクトチームは、国内外の絶滅危惧種の違法取引を根絶することを目的に活動しており、近年はとりわけ●●の密猟問題を危惧し、動物園と連携して調査・研究、普及啓発イベントなどを行っている

こちらも、フォントや文字の大きさを工夫して見やすくなるようにしてください。

- (2) 本プロジェクトにつながるこれまでの活動実績があれば、その詳細をお書きください。また、このプロジェクトを終えた後にどのように活動を展開させていくのかについてお書きください。

本プロジェクトチームは、●●保護財団がxxxx年に行った野生動物の国内取引調査から発足した。この調査においては・・・

プロジェクトの基礎データとなる情報があればお書きください。またプロジェクトの成果をどのような自然保護活動に活用していくかについてお書きください。

各ページ毎に、設問に対する回答が収まるようにしてください。（この文章は削除の上、提出可）

年間スケジュール(1)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2022年10月	○○動物園打ち合わせ、下見 イベント準備 ↑・ポスターとチラシ制作（デザイナーに委託）	旅費 200,000円 委託費 100,000円 印刷費 20,000円 送料 10,000円 講師謝金 20,000円 アルバイト賃金 16,000円
11月	↓ ・ポスター・チラシ印刷 ・ポスター・チラシ送付①	
12月	○○動物園イベント開催 講師：□□氏 （運営サポートアルバイト 日当8,000円 ×2名）	
2023年1月		
2月	月をまたいで活動や普及啓発を行う場合は、 ↓でお示しください。 行の高さは変更して構いませんが、ページは 増やさないでください。	前期と後期の大まかな支出 費目と金額をお書きください。 支出費目に関する詳細 は支出計画書にお書きくだ さい。
3月		
中間報告書の提出		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
助成期間の終了		
10月		
11～12月	成果報告書・会計報告書の提出	成果発表会出席旅費※自己資 金の場合は記載不要です。 30,000円

グループの構成員

※グループの最低人数は3名とし、責任者・副責任者・会計責任者を必ず決めてください。代表者は副責任者または会計責任者を兼任しないでください。

役割	氏名	所属・役職	分担内容
責任者（申請者）	自然太郎	自然大学大学院・教授	採取したサンプルのXXX分析を担当
副責任者	●● ●●	自然大学大学院・博士後期課程1年	プロジェクトの中で、どのような業務を分担するのか記入してください。
会計責任者	●● ●●	自然大学	

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただけの方を副責任者としてください。

所属機関の事務員を会計責任者とすることができますが、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費（オーバーヘッド）の支出は認められません。

プロジェクトメンバーについて、専門性など特記すべき点があればお書きください。

調査には野生動物研究室の学生が補助メンバーとして加わる

これまでの活動実績

本申請に関連する書籍やパンフレットの出版、イベントの開催記録などがあればお書きください。審査委員が参考にする場合があります。

- a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）。論文タイトル。雑誌名、巻（号）：初めのページ-終りのページ。
様式（書籍の場合）：著者（出版年）。タイトル。出版社。ページ数。
- b) 自然太郎（2017）。絶滅危惧種●●に関する研究。+++研究誌1(2):100-110
- c) 2016年x月x日 「ワシントン条約を知ろう！ワークショップ」開催（主催：●●保護財団）

本申請の内容に関連するものに限り、申請団体あるいはグループメンバー個人による実績をお書きください。

助成金申請状況・資金計画

1. 当財団では、同様のテーマで複数の助成金を使って実施するプロジェクトには助成いたしません。
(ただし、他の助成金と研究・活動の範囲が明確に分かれている場合は、この限りではありません。)
現在、上述の重複助成に該当するテーマで他財団や公的機関の助成金を申請している場合は、以下に採択スケジュールの詳細を記載してください。採択が決定された場合は、必ず当財団に申し出てください。

機関名	テーマ	金額 (万円)	助成期間 (年月日)	採択結果通知時期 (年月日)

科研費や他財団の助成金への申請は特に禁止していませんが、同様のテーマで重複して採択された場合は必ず当財団にご相談ください。

2. 第34期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。
※申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することもご遠慮ください。

カテゴリー名	タイトル

この申請書は、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の審査にのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。

公益財団法人自然保護助成基金個人情報保護に関する基本方針に則り、適切に取り扱いいたします。

各ページ毎に、設問に対する回答が収まるようにしてください（この文章は削除の上、提出可）。

